

2024年3月2日(土) 3日(日)
伊豆大島 三原山 (758 m) 椿祭り・大島観光

～ Report by 高橋(雄) ～

二日目 (3月3日) 椿祭り・大島観光

3月3日(日)

伊豆大島二日目。今日は椿祭りと大島観光だ。

朝は温泉に5時から入れる。当然入浴。



6:15 良く晴れている。

屋上の三原山テラスから撮影。

三原山の上には半月がかかっていた。



東には雲があって、ご来光は拝めなかったが、神々しい光がさしている。

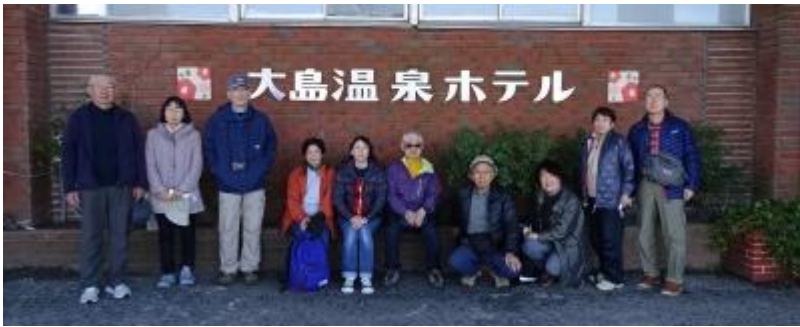


7:00 窓から三原山を見ながら朝食。





ホテルの前庭には富士見晴台があった。しかしその方向には雲がかかっていて、富士山は見えなかった。せっかく晴れているのに残念。



8:11 ホテル前で集合写真を撮って出発。

本日のコース
 レンタカーで大島をほぼ一周する。
 三原山温泉(大島温泉ホテル)→都立大島公園
 →裏砂漠→筆島→港寿司→砂の浜
 →千波地層切断面→都立大島高校→岡田港





8:33 都立大島公園。
椿園入口は椿まつりの飾りつけ。
きれいどころがあんこさんになりかわって
パチリ。
入園料は無料。



さあ、圧巻の椿の花園へ！
と意気込んで椿園に足を踏み入れた。

が、あれ、ちょっと寂しい。
昨年感じたほどのインパクトはない。

通りがかった椿園のスタッフに聞いてみたら、
今年は開花が早かったそうで、見ごろ
のピークは過ぎてしまったとのこと。



それでも、密集して咲いて見ごたえのあるところは
結構あった。

青空に映える椿は期待通り。



赤、白、ピンクといろんな種類の椿が咲いている。しばし写真を撮りまくり。



と、ここで事件発生！

昨日、三原山で川島さんのスニーカーの右足の底がはがれ、応急処置で瞬間接着剤で貼り、結束ベルトで縛っていたが、ここで左足の底もはがれてしまった！

池戸さんが「靴の底がはがれる時は、片方ははがれるとほどなくもう一方もはがれるものだ」と予言していたが、的中してしまった。

とりあえずリボンで縛ってそろそろ歩く。

椿の下で集合写真





大島の椿を初めて見る能勢さんご夫婦の
ツーショット。



早咲きの白い大島桜も咲いていた。



9時に温室もオープンした。
温室の中では、さらに多くの種類の椿が楽
しめる。



中に入るといい香り。「かおりごぜん」など
匂いのする椿のコーナーがお出迎え。





奥へ進むとこんな大きな花の椿とか、

珍しい椿のオンパレード。以下はその一部。

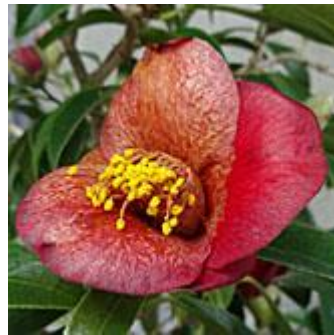


温室を見たあとは、椿園に隣接する椿資料館へ。



椿資料館は、椿の品種や形状、花の色の違いなどを分かりやすく解説している。また古い地層から出土した椿の葉の化石、島民と椿に関する暮らし、民具や工芸品なども展示している。椿まつり期間中は切花が展示され、美しい椿の花々を楽しむことができる。

この中にもちょっとした温室があり、黒椿（下の左端）など珍しい品種が展示されていた。以下はその一部



椿資料館入口の横にはそてつの木があり、大きな実がついていた。



また、早咲きの大島桜もあって、メジロが花の蜜を吸っていた。

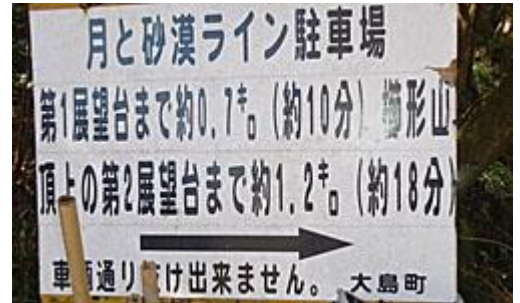




資料館から出て車に戻ると、中島さんが、昨日履いていた登山靴を、靴の底がはがれてしまっていた川島さんに貸してあげた。



椿の大島公園から車で 20 分。
10:08 月と砂漠ライン駐車場。
ここから歩いて裏砂漠の第一展望台へ。



10:25 裏砂漠第一展望台。烈風が絶え間なく吹き付ける。帽子を飛ばされないように押さえて写真を撮る。



この裏砂漠は、日本で唯一の「砂漠」と表記された場所だそうだ。
(鳥取にあるのは砂丘で、砂漠ではない。)
裏砂漠は大島で 3 月にお勧め観光スポットランキングで 1 位。
様々な CM もここで撮影されているとのこと。
「もく星号遭難の地」の碑もあった。





11:03 [筆島](#)展望台。



筆島の近くには[オタイネの碑](#)があった。
吉松夫妻のツーショット。



12:00
波浮の港町にある[港寿司](#)で昼食。



一人あたり
地魚のにぎり 9貫+べっこう寿司 1貫
美味でした。





13:03 [砂の浜](#)

黒い砂の浜だ。ウミガメの産卵地とか。



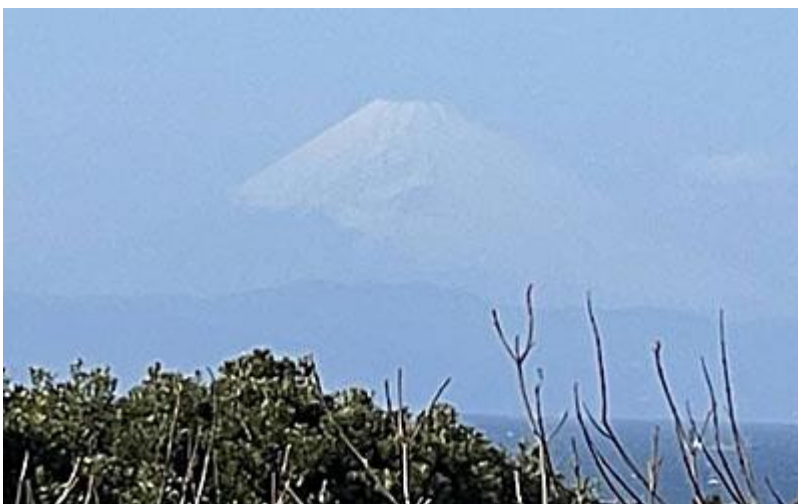
13:12 [地層切断面](#)

迫力ありました。



13:36 [大島高校椿園](#)

規模は大きいが、椿は終盤だった。



大島高校椿園の椿はだいぶ散ってしまっていたが、ここから富士山が見えた！
昨日は曇っていたし、今朝は晴れても雲がかかっている見えず、がっかりしていたが、最後に見ることができた。

これで大島で見たかったものは全部見ることができて大満足！



岡田港に戻り、レンタカーも返却して、
14:42 待合所でお疲れさんの乾杯！



船が出るまでに時間があるので、中島さんは椿の花びら染めをやった。



15:30 大島発、久里浜経由東京行き乗船が始まった。

熊本さん、池戸さん、塩野さん、川島さん、中島さん、高橋雄の6名が乗り込む。



能勢さんご夫妻、吉松さんご夫妻の4人は後の15:50発の熱海行きに乗るのでお見送り。あんこさん↓も見送ってくれた



ジェット船は順調に航行し、定刻の16:30 久里浜港に着いた。塩野さん、川島さん、私の3人も温泉に寄るため、竹芝まで乗らず、ここで下船した。

熊本さん、池戸さんも下船して、中島さんが下りてくるのを待った。

しかし中島さんはなかなか降りてこない。



16:35 の出港時刻になり、東海汽船のスタッフがブリッジのロープを外し始めた！池戸さんがスタッフにまだもう一人降りてこない！と言ったら、スタッフが船の中を見に行こうとした。すると中島さんがあわてて駆け下りてきた。なんと、下船口と反対側にいて、なかなかドアが開かず、待っていたが、他の客に下船口は反対側と言われて気づいたようだ。危機一髪！



ドタバタしたが、無事 6 人揃い、久里浜港にある[海辺の湯](#)へ。



快適に温泉入浴して、17:56 乾杯！温泉入浴 + 生ビール中ジョッキとツマミ（鶏カラアゲ、枝豆、フライドポテトの船盛り）セットで 1380 円と超格安を堪能し締めくくりました。

温泉後はバスで京急久里浜駅へ。

熊本さん、池戸さんはそのままご帰宅。

川島さんは、中島さんからサイズが合わず履いていないというスニーカーを譲り受けるため、塩野さん、私と 3 人で駅から歩 5 分の中島さんのお宅へ。お茶をいただいた後、中島さんに京急久里浜駅までまた送っていただいて、京急で帰りました。中島さんには本当にお世話になり、ありがとうございました。

いろいろハプニングがありましたが、全員無事で大島をフルに堪能した二日間でした。お疲れさまでした。

特別付録：[大島ドライブルート](#)

今回レンタカーで回った各地点間のルート、距離、走行時間です。

各目的地のマップコードを調べて記載しています。カーナビの目的地セットに使いました。